

ただけたら。

ただけたら、
中村（実） 私が自分で担当しているときには、必ずエージェントの方に、基本契約以外に、これこれについてお願意したいといつこほは、話し合った結果を一応全部文書にして、コピーを取って送らせていました。口約束だけではありますので、些細なことで、お互いに思い込みがありますが、記録をこってお互いに確認しておくことが非常に大事なことを思います。

長谷川 書面に残すことは大事だと思います。修学旅行の宿泊手配マニアカルにもきかっと載っておりました。これは励行するかどうかの問題ですが、励行しなければ大きな問題になる。学校との関係も、これこれがどうこうことで打合せをさせていただきましたといったようなフォームも会社にありますので、あとで郵送や、ファックスで確認をしておこうともがきます。

へ人と人との関係／
井桁 それでは最後に、人と人の関係です。子供たちが感動を持って帰れる修学旅行、そして旅館の方々から学び得る修学旅行ということになりますと、旅館そのものが教室です。そなうだとすれば、学校側が旅館の方に提供できるサービスとは何か、教育という立場からお願いします。

中村（実） 私のものは、お世話になるのだから、最低しがだけのことは自分でする。お世話になつたところについておきちゃんとお礼を申しあげる。旅館で生活していく上での注意事項についておさらいと聞くよろこびます。このよつた指導はしておるつもりです。

井松 旅館の方から学校の方に、ぜひこれだけはお願いをしたいというふうに願いをしました。虫のいい話ですが、労働時間の短縮という問題があります。配膳の後片付け、部屋のぐみの回収、ふどんの整理などを学校教育の一環として行っていただけだと非常に業務短縮が図れます。

中村(茂) 基本的には学校をお客様ですから、そつこでニーズにこちらが合わせていくことが基本でしょう。ただ、京都に関しましては旅館の状況も経営環境も変わってきました。本来はそういうことをしてくださるといというのはおかしいのかなとも知れませんが、現実ははどうでありますので、このような機会を通して、旅館も大変なのだと思います。どの一端でもお分かりいただけたら幸いです。

長谷川 私ども、旅館と学校の中に入つておりまして、どの辺までが私どもが旅館にお願いすべきことなのか、非常に微妙な関係になることがあります。

弓率のときなど私どもが号令を掛ける場合と、先生がなさる場合があります。どしまで私どもがやつたければ、私どもまたそれをに合わせてしっかりやるのを思つております。

「まとめ」
井桁 この辺で私の方で、斯ういうものには定義がない、したがつてサービスなど前田教授に御感想をいただきたいと思います。

基調講演の中で、サービスのまじめをし、その後前田教授に御感想をいただきたいと思います。

は、成功させる要件は何か、各学校の立場で考えて、各自の立場でもう一度、自分自身がこの問題をどのように理解しているか、それを改めてお聞きしたいと思います。旅館ラブルを想定して、そこには同宿も可能ではあるならば、相互に理解していないことはないと思ふ。そこで、まず、この問題について、各校にお知らせいたします。

旅費にあらかじめ
急料金を割り引いて
す。六万円時代も
に来ているわけで
よくな状況の中で、
館ではこれはでき
れどさうないとい
ある意味ではその
特色になるだろうと
ます。一律に何が何
をいたただきたいの
金をという発想か
の旅館でできるの
来をいたただきたいの
され、お互いに共通
れば、お互いに共通
からないと思いま
シ。これ、あとはサー
ニケーションにつ
いては、一方交通から
トの交通をいかにす
くとも、お互いに理
事会の中でほぎ
した文書による契約
したが、トラブル
いただき、トラブル
ンヨン(3)

たとえばどちらの
方にとって、肯
つたり否定的にな
ります。したがって
ある評価基準が必
ず問題とは違つとい
申しました。直接
徒から意見の出
ておられたり、あ
もつあるのが当然
では余り問題にし
ておられません。
ことであつても、
たちは、そういう
いて、定期的にき
よい、悪いの評価
していくことが大事
それから、評価
うことと、柿久保
吉都を連れて
大変いいお話を
条件整備について
つてほしい、後は
ちでやれますとい
ういうものが重要
必要不可欠なのか
をみて御意見をい
う、もっと具体的
すいと思います。

題と言つ
自から見
定的にな
つたりし
共通性の
要です。
る評価基
「あり・
あし」の
うことを
的には生
ないこ
ないは、
よハサ一
ついての
うものが
で、いま
てない
関係の方
ものにつ
ちんと、
を合つ
です。
基準とい
先生から
う、その
ことで、ど
うのか、
たとき、
ができま
御努力を
と思つて
。 井桁
「ビス理
からの方
ことを、
き、また
々には、
たとき、
は大変う
また、
ツーリス
画をして
最後に
だしまし
だしまし
申しあ
閉じさせ
議長
の井桁先
いました
ました。ま
いただき
またパネ
本当にあ
した。

行は今後も続くわ
ら、このようないま
性というものをじ
で表現するのが一
か、もう一歩突つ
よいものを出し
と思います。
ながら、討議をし
ければ、必ずや、
ビズというのにお
お互いの理解とい
お高いものでござ
る高まるのではない
ます。

旅館の皆様にお
まして、修学旅行
は生徒が主役。日
を担う生徒たち
を思い出と役に立つ
うものに大きくか
いる仕事だといふ
改めて認識してい
よりよい修学旅行
すように、一層の
していただければ
おります。

前田先生には、サ
論を、そしてこれ
向をお示しいただ
、パネリストの方
かなり御無理な質
したが、快くこの
参加くださり、本
ていただきたいとこ
しあげます。

熱心に聞いていた
た関係各位にお礼
ました前田教授、
リストの皆様方、
りがとうございま

パネルディスカッション(3)

つこと、
柿久保先生から

かわっている仕事をどういうことを、改めて認識していくべきで、よりよい修学旅行ただき、御努力をしていただければと思つております。

関東地区公立中修学旅行委
員会（清水章夫会長）
・浦和市立常盤中学校長
は、第三回研究協議会を五

立中学校修学旅行研究発
会の準備対策、関東・東北
近畿三地区公立立中学校修
学旅行動向調査、平成六
度修学旅行輸送計画基本方
針等を中心に審議を重ね、

迫り立つたといふ御乗車
鼓の熱演と迫力に、伝統
能を満喫して夢路に入る。
第二日は輪島市加賀観
課長が自らバスに同乗
れ、説明を受ける。鮮魚

と光雲太終了まで、終始懇切な話をいたたいた。観光課長に話を述べ、一時半じうの輪転車を出発、帰途につく。途中東付近で渋滞のため一時程停車、能登のよさとバ

明礼を栗間間は能登は大規模宿泊旅館が少なく、一度に多数の受け入れは困難であるようだ。

また、現地研修の結果から、オールバス修学旅行は、沿岸による問題もあるとの

能登半島へ
近畿地区公立中学校修学旅行委員会の現地研修は、全修協共催のもと、修学旅行の改善向上、新規コース開発のため、昭和六十三年以来行ってきたが、本年は能登半島を中心、八月十九、二十日の両日実施した。黒澤文雄会長（兵庫県芦屋市立潮見中学校）を団長に二十四名が参加し、現地観察とともに、西日にわかつて石川県や輪島市の觀光課等の関係者とも熱心な協議を行い、充実した内容と

立中修学旅行委員会は、なつた。
現在、オールバス修学旅行を実施する学校もある。これから、今回初めて全行程バスを利用した。
しかし早速、天王山付近の渋滞に遭い、金沢兼六園着は約一時間遅れる。昼食をとりながら、石川県観光課・観光連盟の説明を聞き、近中側も黒澤会長、大友会長、修協大阪事務局長が趣向を、北條同修学旅行部長が近畿の状況を述べ、視察に入る。

ふれる車市は輪島の居館だ。キリコ会館では高さ五メートル、重さ二トンある「能登国」を始め、数個のキリコ（御神燈）展示を見る。海を渡る多くのものあるという素材でたましい祭が伝わってくる。うだ。

千枚田に米作りの苦労思い、輪島市が造った「まるごと体験美術館」に修学旅行生の活動する姿を見てみる。窓岩で名高い曾木海岸から折返し、平時ゆかりの上時家の古風たたずまいに往時をしおぶ。輪島は漆器で名高い。昨年オーブンした漆芸美術館では、芸術性豊かな作館に目の保養をする。

(1) 金沢を中心とした歴史や文化財修学旅行が可能。
(2) 奥能登は自然に恵まれ輪島を中心にモデルコースの設定や体験実習館の設置など利用施設の整備が行われ、修学旅行生を入れに熱意があること。
(3) 全修協の働きかけによる特急料金半額を含む北陸専用臨の活用により、安全性、経済性に優れる。
(4) 大自然に恵まれたアルペングルートを加え、変化に富んだコース設定可能。



日ノ岡峠の龜の水は今日も流れます

（第三種郵便物認印）
江戸時代、京に至る旧東海道の最後の難所は山科峠であった。延享年間に木食上人は、旅人や牛馬の労を見かねてこの地に庵を結び、人手を集め、道を改修したといふ。二百五十年前のことである。

……量飲水は石刻の龜の口より張る。炎暑の節、旅人の渴を止め、水を止むといふ。秋里離島は都名所図会にこう続いている。

日ノ岡峠の坂の途中に小

さな祠がある。中の石造の龜の口から水が流れる。工事の際に湧き出した泉を上人が旅人に飲めるようにした名残だと伝えられる。

……日ノ岡やこがれて暑き牛の舌

（正秀）

また峠道は車石で舗装さ

れた。通行量の多い旧東海道は荷車のわだちが土の道に食べ込み、通行の妨げになることから考えられたものだ。牛馬の車輪の幅に合わせて敷設した凹状の車石が今も国道沿いに保存さ

れ、往時をしのばせる。

東は音羽山、西は東山、北は如意岳に囲まれた一帯

が山科盆地だ。

南は開けて近くに旧東海道の三条街道

が今もわずかに昔のたたず

寺は、十六世紀初めに蓮如

殿、書院など門跡寺院らし

い落ち着いた雰囲気を醸し

戰後の山科は、住宅地に

大きく変貌した。その中で、

郷土の歴史を見直そうとす

る活動がなされている。

書院の前庭には勧修寺型

灯籠といわれる雪見灯籠が

る溶東ライオンズクラブの

築かれ、壊がめられた

京都の私立大・キャン

パス体験ツアーチャン

「大学のまち京都」推進

協議会は、京都市と十七の

私立大学が共同して、高等

学校の修学旅行生を対象に

「キャンパス体験ツアーチャン

」を九月一日から十一月十日

まで実施している。

内容はミニ講義、キャン

パスライブ紹介、キャンパ

ス見学、スポーツ・文化ク

リエイチアム女子大、光華女子大、

同志社大、同志社女子大、

外語大、京都学園大、京都

産業大、京都女子大、京都

精華大、京都造形芸術大、

法隆寺金堂の火災を契機と

して、昭和二十五年に三法

を一まとめとする形で「文

化財保護法」の成立をみる

に至った。まず旧法による

国宝をすべて重要文化財と

見なした上で、その中から

特に国家的・国際的にすぐれ

て価値の高いもの九百八

九件を改めて国宝として指

定し直した。これを新国宝

と呼ぶこともある。

この三法も時代とともに

不備の点が多くなり、改正

からである。しかし「この法

は古社寺の保有する文化

財との建造物に対する対象が限

り、対象範囲を広げるよう

に改正し、新たに「国宝保

存法」を制定（これによつ

たので、昭和四年（一九四九）

それらの不備を補完

（一九三三）には「重要美

術品等の保存に関する法

が制定された。

（第三種郵便物認印）

（第三種郵便物認印）